



サーバの管理

この章は、次の項で構成されています。

- サーバのブート順 (1 ページ)

サーバのブート順

Cisco IMC を使用して、使用可能なブートデバイスタイプからサーバがブートを試行する順序を設定できます。レガシーブート順の設定では、Cisco IMCによりデバイスタイプの並び替えが許可されますが、デバイスタイプ内のデバイスの並べ替えはできません。高精度ブート順の設定により、デバイスの線形順序付けができます。Web UI または CLI では、ブート順およびブートモードの変更、各デバイスタイプ下への複数のデバイスの追加、ブート順の並び替え、各デバイスタイプのパラメータの設定ができます。

ブート順の設定を変更すると、Cisco IMC は、サーバが次にリブートされるときに、設定されたブート順を BIOS に送信します。新しいブート順を実装するには、設定の変更後にサーバをリブートします。新しいブート順は以降のリブートで反映されます。設定されたブート順は、設定が Cisco IMC または BIOS 設定で再度変更されるまで保持されます。



(注) 次のいずれかの条件が発生すると、実際のブート順は設定されたブート順と異なります。

- 設定されたブート順を使用してブートしようとしたときに BIOS で問題が発生した。
- ユーザが BIOS で直接、ブート順を変更した。

高精度ブート順の設定

始める前に

サーバのブート順を設定するには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順

ステップ1 [Navigation] ペインの [Compute] メニューをクリックします。

ステップ2 [BIOS] タブで [Configure Boot Order] タブをクリックします。

ステップ3 [BIOS Properties] 領域の [Configure Boot Order] をクリックします。

ブート順の説明が示されたダイアログボックスが表示されます。

ステップ4 [Configure Boot Order] ダイアログボックスで、次のプロパティを更新します。

名前	説明
[Add Boot Device] テーブル	<p>サーバのブートオプション。次のブートデバイスの1つ以上を追加して、選択したデバイスのパラメータを設定できます。</p> <p>(注) 可能性のあるすべてのブートデバイスを次に示します。実際に表示されるデバイスは、使用しているCシリーズサーバのタイプによって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ローカル HDD の追加 • [Add PXE Boot] • [Add SAN Boot] • [Add iSCSI Boot] • [Add SD Card] <p>(注) このオプションを使用できるのは一部のUCSCシリーズサーバだけです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Add USB] • [Add Virtual Media] • PCHストレージの追加 • UEFI SHELL の追加 • NVME の追加 • ローカル CDD の追加
[Enable/Disable] ボタン	<p>BIOSによるデバイスの可視性。Stateには、次のいずれかを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enabled] : デバイスはブート順の設定で BIOSから認識できます。 • [Disabled] : デバイスはブート順の設定で BIOSから認識できません。

名前	説明
[Modify] ボタン	選択したデバイスの属性を変更します。
[Delete] ボタン	[Boot Order] テーブルから選択したブート可能なデバイスを削除します。
[Clone] ボタン	既存のデバイス設定を新しいデバイスにコピーします。
[Re-Apply] ボタン	最後に設定されたブート順の送信元が BIOS として表示されるとき、ブート順の設定を BIOS に再適用します。
[Move Up] ボタン	選択したデバイス タイプを [Boot Order] テーブルで高いプライオリティに移動します。
[Move Down] ボタン	選択したデバイス タイプを [Boot Order] テーブルで低いプライオリティに移動します。
[Boot Order] テーブル	このサーバがブートできるデバイスタイプが、ブートが試行される順に表示されます。
[Save Changes] ボタン	設定されているブート順に対する変更を保存するか、または以前に設定したブート順を再適用します。 は、そのサーバが次に再起動されるときに、設定されているブート順を BIOS に送信します。
[Reset Values] ボタン	設定されたブート順の値をリセットします。
[Close] ボタン	変更を保存しないで、または既存の設定を再適用しないで、ダイアログボックスを閉じます。 このオプション選択すると、そのサーバが次に再起動されるときに、実際のブート順は変更されません。

ステップ5 [Save Changes] をクリックします。

サーバに接続しているデバイスによっては、実際のブート順に追加のデバイスタイプが付加される場合があります。

次のタスク

サーバを再起動して、新しいブート順でブートします。

ブートデバイスの管理

始める前に

デバイスタイプをサーバのブート順に追加するには、admin権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順

ステップ1 [Navigation] ペインの [Compute] メニューをクリックします。

ステップ2 [BIOS] タブで [Configure Boot Order] タブをクリックします。

ステップ3 [BIOS Properties] 領域の [Configure Boot Order] をクリックします。

ブート順の説明が示されたダイアログボックスが表示されます。

ステップ4 [Configure Boot Order] ダイアログボックスで、[Add Boot Device] テーブルからブート順に追加するデバイスを選択します。

ローカルHDDデバイスを追加するには、[ローカルHDDの追加 (Add Local HDD)] をクリックし、次のパラメータを更新します。

名前	説明
[Name] フィールド	デバイスの名前。 (注) 一旦作成すると、デバイスの名前を変更することはできません。
[State] ドロップダウンリスト	BIOSによるデバイスの可視性。次のいずれかになります。 • [Enabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できます。 • [Disabled] : デバイスはブート設定で BIOS から認識できません。
[Order] フィールド	デバイスの使用可能なリストにおけるそのデバイスの順序。 1 から n の間の数字を入力します (n はデバイスの数)。
[デバイスの追加 (Add Device)] ボタン	[Boot Order] テーブルにデバイスを追加します。
[Cancel] ボタン	ダイアログボックスが開いているときに行われた変更を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

PXEデバイスを追加するには、[Add PXE] をクリックし、次のパラメータを更新します。

名前	説明
[Name] フィールド	デバイスの名前。 この名前は、デバイスの作成後は変更できません。
[State] ドロップダウンリスト	BIOSによるデバイスの可視性。Stateには、次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できます。 • [Disabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できません。
[Order] フィールド	デバイスの使用可能なリストにおけるそのデバイスの順序。 1 から n の間の数字を入力します (n はデバイスの数)。
MAC アドレス	サーバの MAC アドレス。 (注) このオプションを使用できるのは一部の C シリーズサーバだけです。
[Port] フィールド	デバイスが装着されているスロットのポート。 0 ~ 255 の範囲内の数を入力してください。

SAN ブートデバイスを追加するには、[SAN ブートの追加 (Add SAN Boot)] をクリックし、次のパラメータを更新します。

名前	説明
[Name] フィールド	デバイスの名前。 この名前は、デバイスの作成後は変更できません。
[State] ドロップダウンリスト	BIOSによるデバイスの可視性。Stateには、次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できます。 • [Disabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できません。
[Order] フィールド	デバイスの使用可能なリストにおけるそのデバイスの順序。 1 から n の間の数字を入力します (n はデバイスの数)。
[LUN] フィールド	デバイスが装着されているスロットの論理ユニット。 0 ~ 255 の範囲内の数を入力してください。

■ ブートデバイスの管理

名前	説明
[変更を保存 (Save Changes)] ボタン	[ブート順序 (Boot Order)] テーブルにデバイスを追加し、変更を保存します。
[Cancel] ボタン	ダイアログボックスが開いているときに行われた変更を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

iSCSI ブートデバイスを追加するには、[iSCSI ブートの追加 (Add iSCSI Boot)] をクリックし、次のパラメータを更新します。

名前	説明
[Name] フィールド	デバイスの名前。 この名前は、デバイスの作成後は変更できません。
[State] ドロップダウンリスト	BIOS によるデバイスの可視性。State には、次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できます。 • [Disabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できません。
[Order] フィールド	デバイスの使用可能なリストにおけるそのデバイスの順序。 1 から n の間の数字を入力します (n はデバイスの数)。
[Port] フィールド	デバイスが装着されているスロットのポート。 0 ~ 255 の範囲内の数を入力してください。 (注) VIC カードの場合は、ポート番号ではなく vNIC インスタンスを使用します。
[変更を保存 (Save Changes)] ボタン	[ブート順序 (Boot Order)] テーブルにデバイスを追加し、変更を保存します。
[Cancel] ボタン	ダイアログボックスが開いているときに行われた変更を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

SD カードを追加するには、[Add SD Card] をクリックし、次のパラメータを更新します。

(注) このオプションを使用できるのは一部の UCS C シリーズ サーバだけです。

名前	説明
[Name] フィールド	デバイスの名前。 この名前は、デバイスの作成後は変更できません。

名前	説明
[State] ドロップダウンリスト	BIOSによるデバイスの可視性。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none">• [Enabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できます。• [Disabled] : デバイスはブート設定で BIOS から認識できません。
[Order] フィールド	デバイスの使用可能なリストにおけるそのデバイスの順序。 1 から n の間の数字を入力します (n はデバイスの数)。
[変更を保存 (Save Changes)] ボタン	[Boot Order] テーブルにデバイスを追加します。
[Cancel] ボタン	ダイアログボックスが開いているときに行われた変更を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

USB デバイスを追加するには、[Add USB] をクリックし、次のパラメータを更新します。

名前	説明
[Name] フィールド	デバイスの名前。 この名前は、デバイスの作成後は変更できません。
[Sub Type] ドロップダウンリスト	特定のデバイスタイプの下位のサブデバイスタイプ。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none">• [CD]• [FDD]• [HDD]
[State] ドロップダウンリスト	BIOSによるデバイスの可視性。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none">• [Enabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できます。• [Disabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できません。
[Order] フィールド	デバイスの使用可能なリストにおけるそのデバイスの順序。 1 から n の間の数字を入力します (n はデバイスの数)。
[変更を保存 (Save Changes)] ボタン	[Boot Order] テーブルにデバイスを追加します。

■ ブートデバイスの管理

名前	説明
[Cancel] ボタン	ダイアログボックスが開いているときに行われた変更を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

仮想メディアを追加するには、[Virtual Media] をクリックし、次のパラメータを更新します。

名前	説明
[Name] フィールド	デバイスの名前。 この名前は、デバイスの作成後は変更できません。
[Sub Type] ドロップダウンリスト	特定のデバイス タイプの下位のサブデバイス タイプ。これは、次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [KVM Mapped DVD] • [KVM Mapped HDD] • [KVM Mapped FDD]
[State] ドロップダウンリスト	BIOS によるデバイスの可視性。State には、次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できます。 • [Disabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できません。
[Order] フィールド	デバイスの使用可能なリストにおけるそのデバイスの順序。 1 から n の間の数字を入力します (n はデバイスの数)。
[変更を保存 (Save Changes)] ボタン	[Boot Order] テーブルにデバイスを追加します。
[Cancel] ボタン	ダイアログボックスが開いているときに行われた変更を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

PCHストレージデバイスを追加するには、[PCH Storage] をクリックし、次のパラメータを更新します。

名前	説明
[Name] フィールド	デバイスの名前。 この名前は、デバイスの作成後は変更できません。

名前	説明
[State] ドロップダウンリスト	BIOSによるデバイスの可視性。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できます。 • [Disabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できません。
[Order] フィールド	デバイスの使用可能なリストにおけるそのデバイスの順序。 1 から n の間の数字を入力します (n はデバイスの数)。
[LUN] フィールド	デバイスが装着されているスロットの論理ユニット。 <ul style="list-style-type: none"> • 0 ~ 255 の範囲の値を入力します。 • AHCI モードの SATA : 1 ~ 10 の範囲の値を入力します • SWRAID モードの SATA : SATA の場合に 0、または 1 を入力します。 <p>(注) SATA モードを使用できるのは一部の UCS C シリーズ サーバだけです。</p>
[変更を保存 (Save Changes)] ボタン	[Boot Order] テーブルにデバイスを追加します。
[Cancel] ボタン	ダイアログボックスが開いているときに行われた変更を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

UEFI シェルデバイスを追加するには、[Add UEFI Shell] をクリックし、次のパラメータを更新します。

名前	説明
[Name] フィールド	デバイスの名前。 この名前は、デバイスの作成後は変更できません。
[State] ドロップダウンリスト	BIOSによるデバイスの可視性。State には、次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できます。 • [Disabled] : デバイスはブート順の設定で BIOS から認識できません。

■ サーバの実際のブート順の表示

名前	説明
[Order] フィールド	デバイスの使用可能なリストにおけるそのデバイスの順序。 1 から n の間の数字を入力します（n はデバイスの数）。
[デバイスの追加 (Add Device)] ボタン	[Boot Order] テーブルにデバイスを追加します。
[Cancel] ボタン	ダイアログボックスが開いているときに行われた変更を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

サーバの実際のブート順の表示

サーバの実際のブート順とは、サーバが最後にブートされたときに BIOS によって実際に使用されたブート順です。実際のブート順は、で設定されたブート順とは異なる場合があります。

手順

ステップ1 [Navigation] ペインの [Compute] メニューをクリックします。

ステップ2 [BIOS] タブで [Configure Boot Order] タブをクリックします。

ステップ3 [BIOS Properties] 領域の [Configure Boot Order] をクリックします。

この領域には、Cisco IMC を介して設定されたブート順のデバイスと、サーバ BIOS によって使用される実際のブート順が表示されます。

[Configured Boot Devices] セクションには、Cisco IMC を介して設定されたブート順（[Basic] または[Advanced]）が表示されます。この設定が変更されると、次回そのサーバがブートしたときに、Cisco IMC がこのブート順を BIOS に送信します。基本設定では、デバイスタイプのみを指定できます。詳細設定では、スロット、ポート、LUN などの特定のパラメータを使用してデバイスを設定できます。

設定されたブート順を変更したり、以前に設定されたブート順を復元したりするには、管理者は [Configure Boot Order] ボタンをクリックできます。これらの変更をただちに有効にするには、サーバをリブートします。[BIOS] タブを更新することで、新しいブート順を確認できます。

(注) この情報は、次のサーバのブート時に BIOS にのみ送信されます。Cisco IMC は、設定が変更されるまで、ブート順の情報を BIOS に再送信しません。

[Actual Boot Devices] セクションには、サーバが最後にブートされたときに BIOS によって実際に使用されたブート順が表示されます。次のいずれかの条件が発生すると、実際のブート順は設定されたブート順と異なります。

- ・設定されたブート順を使用してブートしようとしたときに BIOS で問題が発生した。

- ユーザが BIOS で直接、ブート順を変更した。手動による変更を上書きするには、Cisco IMC を介して設定されたブート順を変更し、サーバをリブートします。

(注) 設定されたブート順を使用して新しいポリシーを作成すると、BIOS はこの新しいポリシーをシステムに存在するデバイス（複数の場合あり）にマッピングしようとします。実際にマッピングされたデバイス名とポリシー名が [Actual Boot Order] 領域に表示されます。BIOS が Cisco IMC の特定のポリシーに検出されたデバイスをマッピングできない場合は、実際のデバイス名が [Actual Boot Order] 領域に [NonPolicyTarget] として示されます。

ワンタイム ブート デバイスでブートするようにサーバを設定する

現在設定されているブート順序を中断することなく、次のサーバのブートに対してのみ、特定のデバイスから起動するようにサーバを設定できます。ワンタイムブートデバイスからサーバを起動すると、事前に設定されているブート順で以降のすべてのリブートが行われます。

始める前に

サーバのブート順を設定するには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順

ステップ1 [Navigation] ペインの [Compute] メニューをクリックします。

ステップ2 [BIOS] タブで [Configure Boot Order] タブをクリックします。

ステップ3 [BIOS Properties] 領域で、[Configured One Time Boot Device] ドロップダウンからオプションを選択します。

(注) 無効になっている拡張ブート デバイスで設定されている場合でも、ホストはワンタイム ブート デバイスに対して起動します。

■ ワンタイム ブート デバイスでブートするようにサーバを設定する